

安心と信頼を届けるコミュニケーション紙

NOSA^い

広島 のうさい
ひろしま 島

冬号

2015

vol. 03



特集

NOSAと
農家のきずな
未来へつなぐ

新たな年を迎え、県内各地で農業に夢や希望を持って取り組む組合員の方々をご紹介します。皆さんのNOSA-Iへの思いも伺いました。

NOSA-I広島は、今年も農家・組合員の皆さまとのつながりを大切にして、歩んでまいります。

組合長あいさつ



組合長理事 渡邊 昭二

農家とのつながりを強め 共に歩む組合へ

平成27年の年頭にあたり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。
新しい年を迎え、農家・組合員の皆さまには、日頃より当組合の事業運営に対し、特段のご支援とご理解を賜り厚くお礼を申し上げます。
昨年8月に発生した広島土砂災害では、これまで経験したことがない集中豪雨により、多くの命や財産が一瞬にして奪われました。あらためて、被害に遭われた皆さまに対して、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧復興をお祈りいたします。

さて、近年多発している自然災害等に対して、NOSA-I制度は、長年にわたり「災害による損失の補てんと未然防止」という重要な役割を担ってまいりました。今後も、農業のセーフティネットとしての機能と使命を従前にも増して発揮するため、役職員が積極的に生産現場に向かい、農家の声を直接聞き、対話を積み重ねる行動をさらに強化していかなければならないと考えております。

農業をめぐる情勢は、農家の高齢化、後継者育成が課題となっており、耕作放棄地の増加など農地の減少が続く一方で、経営規模の拡大や集団化が進んでいます。

こうした状況の下、組合では、さらなる組織運営の効率化を図り、合併によるスケールメリットを最大限発揮し、損害防止の充実や農家サービスの強化に努め、「信頼のきずな」を農家・地域につなげる取り組みを展開してまいります。

組合員の皆さまのご支援とご協力をお願い申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

広島市安佐南区

平 奈岐佐さん (52)

乳用牛等 25頭



「『うちの牛乳が一番おいしい』という息子の言葉で続けてこられました」と話す平さん

亡き父の後を継ぎ、本格的に酪農に携わって20年です。早朝からの搾乳や牛の体調管理、自給飼料作りなど、毎日やることはたくさん。家事や子育てとの両立が大変な時期もありましたが、子どもが自立してからはずいぶん楽になりました。夢は自家製チーズを作ること。夫が定年退職したら一緒に石釜を作って、ピザを焼いてみたいです。

NOSA-I一言 (家畜共済)

NOSA-Iには、いつも迅速に対応してもらって助かっています。頼りになるパートナーです。

世羅町

今田三雄さん (84)

肥育牛 約80頭



今田さん(左)と、「まずは家族がやってきたことを引き継ぎ、守っていききたい」と亮さん(21)

孫の亮が2年前に就農し、家族5人で飼育しています。亮は子どもの頃から手伝いをしていたので、指示をしなくても動いてくれる頼もしい後継者。月に一度の素牛(子牛)の競りには、いつも二人で参加しています。昔に比べて素牛の値段が上がり経営が難しい時代ですが、失敗を恐れずいろいろな経験をして、乗り越えていってほしいと思います。

NOSA-I一言 (家畜共済)

乳牛に比べ病気は少ないですが、何かあったときはNOSA-Iの獣医さんが来てくれるので心強いです。

北広島町

多川 純利さん (28)

ハウス18棟 (30アール) ホウレンソウ



「家族で力を合わせて頑張りたい」と多川さん。桂子さん(29)、長男の颯太くん(2)と共に

高校卒業後に北広島町を離れたことが、農業で地元へ貢献したくて農業技術大学校で勉強し、一昨年就農しました。思った以上に初期投資がかかり、天候にもいろいろと気をもみましたが、自分がどれだけ頑張って工夫するか、思うようにできるのが農業の魅力。将来は法人化も視野に、地域の農地の維持や活性化に取り組みたいです。

NOSA-I一言 (園芸施設共済)

施設園芸は被覆材や構造が進化しています。共済制度にも今の営農状況に合わせた内容の見直しを強く期待しています。

福山市芦田町

立花イチゴ農園 立花 和磨さん (37)

イチゴ ハウス9棟 (25アール)



「お客さんの顔を見られるのが一番の魅力」と、立花さんと妻の早余子さん

6年前、サラリーマンを辞めてイチゴ栽培を始め、2年目には観光農園をオープンしました。有名産地に負けないおいしいイチゴを作ろうと、農薬を最低限に抑え、肥料や設備を工夫するなど、試行錯誤を重ねています。今年もたくさんのお客さんに来てもらいたいですね。

NOSA-I一言 (園芸施設共済)

中古のハウスの紹介など、農家に役立つ情報提供をお願いします。

呉市豊町

出口 敏弘さん (67)

みかん等柑橘 1.5ヘクタール



「楽しみながらやるのが、長く続ける秘訣です」と、出口さんと妻の美代子さん(66)

祖父の代から続く果樹栽培に携わって47年目です。毎年異なる気象条件の下、近年は鳥獣害にも頭を悩ませながら、消費者みんなにおいしく食べてもらえるように手間暇を惜しまず栽培しています。いつも市場の動向に気を配り、これから就農する若い人に、品種や販売方法などについてアドバイスできるような存在でありたいと思っています。

NOSA-I一言 (果樹共済)

果樹共済にはさまざまな加入方式があつて、制度が少々複雑だと感じています。組合員が納得して加入できるように、分かりやすい制度の説明を期待しています。

庄原市東城町

株式会社 藤本農園 藤本 聡さん (36)

水稲 28ヘクタール



藤本さんが栽培したひとめぼれは、平成23年、日本米穀小売商業組合連合会主催のコンテストで最優秀賞を受賞。会社のキャラクター「あいがももん」とPR

5年前に父の後を継ぎ、減農薬・丁寧な土壌管理で自然にやさしい米作りを行っています。都会の方にも農業の魅力を伝え、将来ふるさとのように感じてもらうために、30年ほど前から続く消費者を対象にした田植え体験や収穫感謝祭にも力を入れています。今後、消費者に喜ばれ、やりがいある米作りを続けていきたいです。

NOSA-I一言 (農作物共済)

NOSA-Iは農家の最後のとりでとして期待しています。農家が安心して農業に携われるよう、これからもよろしくお願いします。

農作物共済

平成26年産水稻の 共済金を支払いました

被害申告をされた県内7224筆の損害評価を実施し、12月10日に開催した損害評価会の承認を得て、12月18日、対象組合員2049戸に共済金1億732万73円をお支払いしました。

主な被害は、獣害、病害で、獣害では、県内全域でイノシシ・シカによる食害や踏み倒しが発生し、一部ではスズメによる食害が発生しました。病害では、日照不足や多雨の影響



イノシシの被害を受けた田



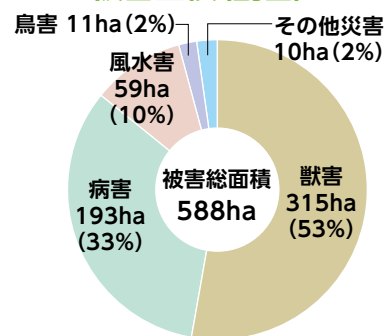
いもち病が発生した田

響でいもち病、紋枯病の発生が見られ、西部・北部地域で被害が拡大しました。また、移植不能や、台風等による水害も発生しました。
※被害申告をされた全ての組合員の皆さまに、損害評価結果通知書を送付しました。

平成26年産 水稻共済引受・支払状況

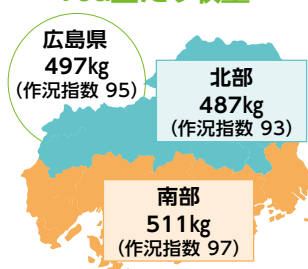
引受状況	支払状況	被害率(%)
①	②	②÷①×100
戸数	戸数	5.2
筆数	筆数	2.5
面積	面積	2.4
農家負担掛金	支払共済金	
50,798,417円	177,320,073円	

平成26年産 水稻共済災害別 被害面積(割合)



なお、農林水産省 中国四国農政局 広島地域センターの発表によると、県全体の平成26年産水稻10a^{1a}当たり収穫量は497kg、作況指数(※)は95となりました。
※作況指数：10a^{1a}当たり平年収量に対する10a^{1a}当たり予想収量の比率

平成26年産水稻の 作柄表示地帯別 10a当たり収量



◎作況指数 98～95 ……「やや不良」
94以下 ……「不良」

農作物共済 果樹共済加入者対象 獣害防止施設購入費用の 助成金を支払いました

農作物1175件、果樹15件について、12月、獣害防止施設購入費用の一部助成金総額2128万2645円をお支払いしました。対象組合員の皆さまには、振込通知書(はがき)を送付しました。

防護柵等の点検・修理を

冬の間に防護柵等の点検を行い、壊れている所などがあれば修理して、獣害に備えましょう。

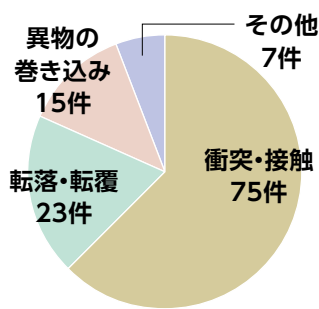


農機具共済

点検・整備と 農機具共済で万全に

平成25年度、県内で共済金支払い対象となった事故は120件。その原因は稼働中の衝突や接触が多く、次いで転落や転覆、異物の巻き込みとなっています。

平成25年度 農機具共済 原因別支払件数



ほ場から出るときに転覆したコンバイン

果樹共済

うんしゅうみかん、 指定かんきつ、ぶどう、 なしの共済金を 支払いました

平成25年産うんしゅうみかん、平成26年産指定かんきつ、平成26年産ぶどう、平成26年産なしの共済金を該当組合員へお支払いしました。

果樹共済 共済金支払状況

区分	戸数(戸)	支払共済金(円)
平成25年産うんしゅうみかん(災害収入共済方式)	5	883,248
平成26年産指定かんきつ(災害収入共済方式)	2	474,683
平成26年産ぶどう(半相殺減収総合一般方式)	4	932,180
平成26年産なし(半相殺減収総合一般方式)	8	394,060
合計	19	2,684,171

本格的な農作業シーズンを迎える前のこの時期に、農機具の点検・整備を行って農作業の安全に努めるとともに、NOSAⅠの農機具共済に加入して万一の事故に備えましょう。

ご加入の農機具に 更新はありませんか

現在ご加入いただいている農機具と同等の機種を新たに取得されたときは、入れ替えの手続きが必要です。手続きが済んでいないときに事故が発生した場合、支払いの対象になりませんので、お忘れのないようお願いします。

事故連絡は 至急NOSAⅠへ

共済事故が発生した場合は、すぐにご連絡ください。連絡の遅れにより事故状況の確認が困難になると、共済金の一部、またはすべてが免責となり、支払い対象とならない場合がありますのでご注意ください。

園芸施設共済

園芸施設共済の補償が 拡充されます

自然災害により被災した園芸施設を再建し、速やかに農業経営の継続が図られるよう、園芸施設共済の補償が拡充されます。

1月に開催される理事会および臨時総代会での承認を得て、平成27年2月から適用される予定です。

1 時価ベースの補償の拡充

(1) 耐用年数の見直し
施設本体と附帯施設の耐用年数を見直します。

パイプハウスは、耐用年数が2倍になり補償金額が増加します。

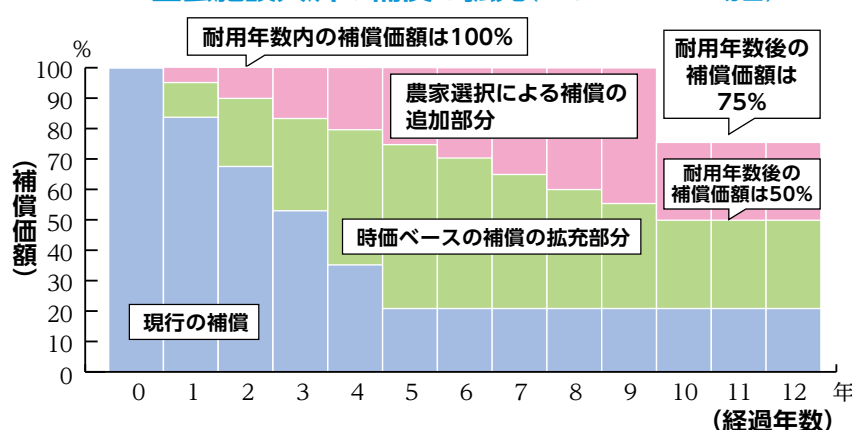
(2) 補償価額の引上げ

施設本体と附帯施設の耐用年数経過後の補償価額を再建築価額の20%から50%に引き上げることにより補償金額が増加します。

2 農家選択による補償の追加

1の時価ベースの補償の拡充に加えて、農家の選択により、さらに大きな補償が受けられます。

園芸施設共済の補償の拡充(パイプハウスの場合)



① 耐用年数内の施設の補償価額は、再建築価額の100%。
② 耐用年数経過後の施設の補償価額は、再建築価額の75%。
※追加部分の共済掛金の全額を農家に負担していただきます。
※追加部分の共済金は、施設本体および附帯施設を復旧した場合に支払います。

3 撤去費用の対象の拡充

現在、撤去費用の対象となっていないパイプハウスも撤去費用の補償対象に追加されます(農家選択)。

家畜共済

削蹄助成金交付申請の期限が近づいています

家畜共済加入組合員を対象とした削蹄助成金の交付申請期限は、**平成27年2月28日まで**となっています。

削蹄実施証明もしくは削蹄経費支払領収書を添付して、期限までに申請してください。

【対象】平成26年4月1日から平成27年2月28日までに実施された削蹄※平成27年3月1日から3月31日までに実施された削蹄については、翌年度申請となる予定です。

【交付対象頭数】

新規加入者：加入時の引受頭数（胎児は除く）が限度

継続加入者：前年度継続加入時の引受頭数（胎児は除く）が限度

【助成金】1頭当たり500円（一組合員20万円が限度）

家畜の異動連絡は速やかに

家畜の導入や譲渡、子牛の出生などの異動が生じたときには、速やかにご連絡ください。

通知が遅れた場合や、通知がない場合は、共済金をお支払いできないことがありますのでご注意ください。※家畜改良センターへ、異動のあった牛および死亡牛の届け出をお願いします。

共済掛金等の納入は口座振替を

ご利用ください

共済掛金等の現金納入に係る不祥事を未然に防止するため、組合員の皆さまに、現金納入から口座振替への移行をお願いしています。

口座振替ができる金融機関は、J・A・ゆうちょ銀行・その他の銀行等です。

共済掛金等を「現金」または「振込」で納入いただいた方には、ご加入内容の確認はがきを送付いたしますので、お手数ですがご返送くださいますようお願いいたします。

第39回「新・日本の農村」写真コンテストの作品を募集

全国農業共済協会では、第39回「新・日本の農村」写真コンテストを次の要領で開催します。ぜひ、ご応募ください。

課題

現代の農業・農村・農民をテーマに、その現実や明るく楽しい事象、災害などをとらえたもの。

応募方法

●サイズは原則としてキャビネ判以上。白黒、カラーいずれでもよく、応募点数は制限しません。ただし、組み写真は1点6枚以内とします。

●応募上の注意 ①未発表の作品に限ります（ただし、農業共済新聞、月刊NOSAIなど関係出版物で発表、掲載したものは構いません）。②作品の裏に画題、住所、氏名などを明記した応募票を添付してください。応募票は農業共済新聞のホームページ（http://nosai.or.jp/shinbun.php）からダウンロードすることができます。

③デジタル作品の場合はカメラで撮ったままの状態とし、加工した作品は応募できません。④応募作品は返却しません。

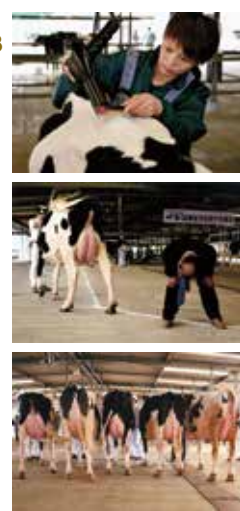
●締め切り 平成27年2月28日（土）、当日消印有効。

●発表 農業共済新聞紙上

●応募先 全国農業共済協会「写真コンテスト」係（〒102-8411 東京都千代田区一番町19番地 電話03-3263-6413）

※詳しくは、全国農業共済協会のホームページをご覧ください。 NOSAI全国 検索

第38回最優秀作品「美乳牛コンテスト」（3枚組み）



統計調査にご協力ください

農林水産省では、2月1日現在で「2015年農林業センサス」を実施します。農林業センサスは、全国の農家や林家をはじめ、すべての農林業関係者を対象に行われる「農林業の国勢調査」ともいえるべきものです。皆様のお宅や会社等に調査員が調査に伺いましたら、ご協力をお願いします。



キャベツの簡単レンジ蒸し

今回の野菜は
キャベツ



地方独立行政法人
広島市立病院機構
広島市立リハビリ
テーション病院
主任技師・管理栄養士
元廣 優子 先生

冬キャベツは寒玉とも呼ばれ、平たい球形で巻きが強く、甘みがあつて煮崩れしにくいのが特徴です。

今回の料理は、レンジで簡単に作れるため、時間がなくても野菜をしっかりとることが出来ます。また、あんかけにすることで、料理の温かさを保つこともできます。

残ったキャベツの芯は、薄切りにして塩もみし、らっきょう酢等で味付けると、即席漬物としてもおいしくいただけます。

キャベツ・ローメモ

キャベツは、ヨーロッパ原産で、18世紀に日本に渡ってきた代表的な西洋野菜の一つです。

1940年に発見されたビタミンU（別名キャベジン）を含んでいて、胃壁の粘膜を丈夫にし、傷ついた胃壁の回復を助ける効果があります。さらに、硫黄や塩素などのミネラルが、胃腸の中で消化・吸収を助け、消化不良によるむかつきを防いでくれます。トンカツの付け合わせにせん切りキャベツは定番ですが、とても良い組み合わせですね。

また、大きな葉1枚には1日に必要なビタミンCの70%が含まれていて、淡色野菜の中では含有量が多い野菜です。

材料(2人前)

キャベツ	4枚
ベーコン	4枚
片栗粉	大さじ1杯
塩・こしょう	少々
(あん)	
2倍濃縮つゆ	大さじ1杯
片栗粉	小さじ1杯
水	50cc

作り方

- ①ビニール袋に片栗粉・塩・こしょうを入れておく。
- ②キャベツの葉から芯を外し、レンジにかけ容器より小さめにカットする。
- ③①に②のキャベツを入れ、空気を含ませながらまんべんなく混ぜ合わせる。
- ④容器にキャベツ、ベーコンの順に重ねて最後にラップを掛け、レンジに5分かける。
- ⑤あんの材料を混ぜてレンジに1分かけ、とろみがダマにならないよう再度かき混ぜる。
- ⑥④にあんをかけ、あればユズ皮や青味（豆苗・ネギなど）を散らす。

残った芯で即席漬物

《作り方》

- ①40gを薄くスライスしてビニール袋に入れ、味塩少々を振りかける。
- ②20分後、ビニール袋ごとみ、水分を捨てる。
- ③大さじ1杯のらっきょう酢を混ぜ合わせ、好みで七味をかける。



梶田部長(左から2番目)と法人のメンバー

この野菜 私で作っています

三次市大田幸町 農事組合法人 畑原 女性部長 梶田 光子さん(73)

5年前から、法人でキャベツ約12㍗を減農薬で栽培しています。今年も、葉を強く巻いたずしりと重いキャベツに育ちました。主に契約栽培ですが、地元のJ・Aの産直市へも出荷しています。「甘くておいしい」というお客様の声はうれしいですね。次の世代へ引き継げるように、これからもより良いものを作っていきたいです。

北広島町

無農薬で多品目野菜 魅力的な農業を日々探求



長男の鼓太郎ちゃん(1)と一緒に、伏見甘長とうがらしを収穫する若田さん

「農業は生活そのもの」と話す北広島町吉木の若田博さん(35)は、年間50種類以上の野菜を、有機資源を使って無農薬栽培しています。

若田さんは、東京農業大学在学中に生活の一部としての農業に魅力を感じ、卒業後の平成23年、北

広島町で「まるみど農園」を開園。「有機栽培は農業の原点。生産性や効率性を追わず、化学物を使わなくてもできる農業もある」と、地元にある堆肥や米ぬか、県内のカキ殻石灰など有機資源を使用し、虫や天候などによる失敗を繰り返しながらも、栽培方法の確立に奮闘しています。大学で知り合った妻の結香さん(27)と共に、電話などで注文を受け直接販売するほか、同町の道の駅「豊平どんぐり村」や「舞ロードIC千代田」、安佐南区大町の「とれたて元氣市」へ出荷。出荷先からは「野菜は全てが高品質で、絶対の安心感がある」と厚い信頼を受けています。



製粉機を前に「機会があれば若い人たちにも見てもらいたい」と話す湯川さん(右)と兼丸さん

世羅町

60年ぶりに稼働 思い出の製粉機

世羅町の湯川義明さん(71)は、2年前自宅の蔵で、戦後間もないころ父親が作った石臼式動力製粉機を見つけ、大切に保管しています。

製粉機は、湯川さんが子どものころに使っていた当時のまま。部品は全てそろっていて、修理が必要箇所もありませんでした。石臼をひいて、母親がかしわ餅を作ってくれていたのを思い出した

湯川さんは「ぜひもう一度動かしたい」と、古い機械や道具を集めることが趣味の兼丸一三さん(75)に声を掛け、昨年7月、約60年ぶりに二人で製粉機を稼働させました。

製粉機が動く仕組みは、直径40センチほどの臼の周囲に鉄製の歯車が装着され、ベルト付き発動機で回すというもの。上の逆円すい形の容器に米を入れて、発動機をかける

と製粉されます。世羅町大田庄歴史館の成安信昭館長は「当時、米や小麦をひく石臼はどの家庭にもありましたが、人力ではなく動力で能率を上げる工夫がされているのは珍しい」と感心しています。

きらり

尾道市

はまだ 綾さん(29)

福山市役所に勤務し、農林水産課に配属されて1年目です。経営所得安定対策と、農産物や加工品を販売する際に必要な食品表示の担当をしています。農家の皆さんに役立つ情報を広く提供できるように、日々心掛けています。



「新たに導入したネギ収穫機で、作業効率が格段に上がりました」と廣藤代表

東広島市

地域の未来 白ネギに託して

東広島市高屋町の農事組合法人「夢ファーム大谷」では、安定した収穫量と収益確保を目指して、白ネギを1畝栽培しています。

高齢化や後継者不足といった地域の課題を解決するため、3年前に法人化。60代を中心に20代前半から70代の組合員41人から成り、「青年会」や「女性会」を結成し、団結して活動しています。

2年前から始めた白ネギ栽培は、5月初旬に定植して、収穫まで土寄せと防除を繰り返します。茎が太く味の良い白ネギにするた

め、牛ふんの堆肥を通常より多めに使用したり、7〜8月にかけての除草作業は女性会に任せ、女性ならではの細かな気遣いと丁寧な作業で雑草の繁茂を防いだりするなど工夫しています。

栽培1年目は、10㎡当たり100万円を売り上げた一人前といわれる中で80万円を売り上げ。上々の出来に手応えを感じ、2年目の今季は栽培面積を倍に増やして、病気に強く収穫時期が異なる2品種を新たに導入しました。

広島県西部農業技術指導所の延



農機具メーカーの担当者から説明を受けながら、慎重に作業を進める法人の組合員たち

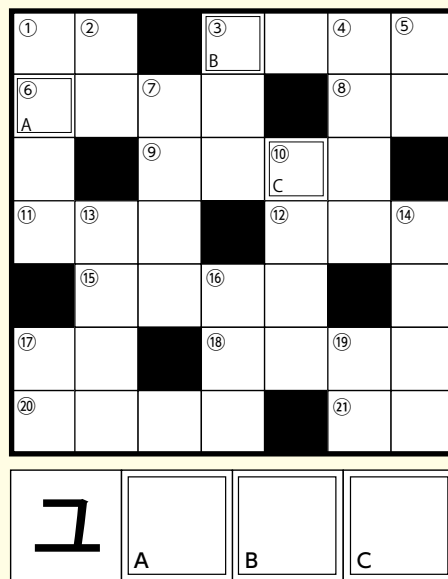
安清香事業推進員は「白ネギで一番大変な除草と排水の管理が丁寧。水稻の刈り取り後に収穫が始まる白ネギは東広島市でも浸透しつつあるので、地域のリーダーとして期待しています」と話しています。

のうさい クロスワードクイズ

タテとヨコのカギをヒントにクロスワードを解いて、二重ワクの文字を組み合わせて答えを探してください。

タテのカギ

- ①落ち葉を集めて、さあ、焼けるのが楽しみ♪
- ②2位のメダル
- ③刑事「あなたはこの事件に○○○していますね」
- ④年賀状などに書く新年のあいさつ
- ⑤タテ⑨を日本語で言うと
- ⑦次の春までお休みなさい
- ⑩氷上の○○○○。羽生結弦選手
- ⑬中世ヨーロッパの恋愛小説。冬の定番ソング「○○○○の神様」
- ⑭航空機同士の異常接近
- ⑯シャツでは掛け違えないように注意して
- ⑰冬の次が待ち遠しいですね♪
- ⑱タテの⑤を英語で言うと



ヨコのカギ

- ①手紙が食べられないよう気を付けよう
- ③夫婦げんかの仲裁役。子は○○○○
- ⑥おせち料理には欠かせない栗○○○○
- ⑧瀬戸内海にはたくさんあります
- ⑨事情が込み入っていて解決に手間取ること。「○○○○くせつを経てまとまる」
- ⑪キュウリなどに付けて食べるとおいしい。○○○○味噌
- ⑫高校2年生。略して
- ⑮右のイラストの海水魚
- ⑰玉子がふんわり中華料理。天津○○
- ⑱あいさつや食事のマナーは守りたいですね。大人の○○○○
- ⑳留守番電話。略して
- ㉑「地域の問題」に登場。世羅町の人が復活させた石○○式動力製粉機

応募方法

今回のプレゼント

正解者の中から抽選で30名様にプレゼント
安芸太田町の「チョコちゃん」ホワイト
＆抹茶3個セット

「県内散歩」で訪ねた安芸太田町の特産品「祇園坊柿」の干し柿にチョコレートとコーティング。町のおばあちゃん達の地元愛から始まり、若者やパティシエも加わってリニューアル。ホワイト＆抹茶チョコの2種類の味をお楽しみください。

おもて

52円
732-0052
NOSA-広島
クイズ係
広島市東区光町
一丁目2番23号

うら

クイズの答え
・郵便番号
・住所
・お名前
・年齢
・電話番号
・広報紙へのご意見・感想など

前回の答え ▶ エンソク

- 庄原市 Tさん (62)
- クイズの応募に合わせたたくさんのお声をいただきました。その中から一部をご紹介します。
- 8月20日の土砂災害を受け避難生活が続け、日中は自宅に戻り片づけをしています。まだタタミはあげたままです。落ち着きましたら、県内散歩をしたいものと思っています。「えがお」、表紙写真、とってもいいですね。気分があなたになりました。
- 広島市 Mさん (81)
- 毎号楽しみに見させていただいてありますが、統合整理になり顔見知りの職員さんも遠ざかり年とともに淋しい気持ちもありますが、今後もより充実した活動をよろしくお願いします。
- 安芸高田市 Hさん (68)
- 幅広い世代の方々が、好みの野菜を植えて、楽しく頑張っているなと思います。私も好きな野菜を植えて挑戦してみようと思います。元気で楽しいと読み終えて思いました。
- 尾道市 Mさん (27)
- 昨年春まで、主人がNOSAの役を3年しました。無事、次の方へ送りました。毎回、クロスワードクイズを解くことを楽しみにしています。次回も楽しみにしています。

広島県農業共済組合 組合員の皆様への特典

婚礼料理を30~50%割引いたします

※特典の対象には組合員のご親族も含まれます

詳しくはお問い合わせください tel.082-262-1124

HOTEL, BANQUET & RESTAURANT
広島カーテンパレス
〒732-0052 広島市東区光町1-15-21
JR広島駅「新幹線口」徒歩5分 私立事業団直営の公共ホテルです

クロスワードを解いて、
地域の特産品を
ゲットしましょう!

静かに感じる 森の癒し

安芸太田町 森林セラピー®基地

しん ぽう ざん

深入山セラピーロード

町内に4カ所あるセラピーロードの一つ。草原性の山野草が多く、解放的な景色が広がる。1、2月の日曜日は、スノーシューを履いて雪山の「癒し」を満喫できるツアーを開催。(高校生以上対象)(お問い合わせ)安芸太田町ヘルスツーリズム推進協議会
TEL 0826-28-1961

もりみんの森 検索

森林セラピー®とは

森の中の散策やレクリエーションを通して心と身体を癒し、健康増進や病気の予防を目指すもの。全国57カ所で行われ、安芸太田町は、その「森林浴効果」が科学的に実証された森林セラピー基地として、広島県で初めて認定されました。

町の食文化から生まれた
本格ご当地グルメ

漬物焼きそば

炒めた漬物と豚肉、町内産の旬の野菜が絶妙な歯応えと味わいを演出する、安芸太田町一押しのご当地グルメ。

2年前、町観光協会の若手職員が、地域の雪かきを手伝うツアーで出会った同町松原地区の食文化「焼き漬物」をB級グルメ化。試作とイベント等での出品を重ね、昨年8月、満を持して販売を開始しました。

現在町内5店舗で提供中。
漬物の種類や味付けなどは店によって異なり、食べ比べて回るなど、ファン急増中です。

(お問い合わせ)安芸太田町観光協会
TEL 0826-28-1800

安芸太田町の
懐かしくも新しい味を、
ぜひ食べに来て
ください!!



「セリエ戸河内 安楽喜」の元祖漬物焼きそば(税込み500円)。さまざまな旨みが凝縮された塩ダレで、かぶ菜の古漬けとたくあんが好相性



セリエ戸河内
やすらぎ
安楽喜

山県郡安芸太田町大字戸河内433
TEL 0826-28-1851
《営業時間》11:00~14:00、17:00~22:00
※水曜日の営業は11:00~14:00
定休日/木曜日、第1水曜日



知れば知るほどビッグスケール!

温井ダム

太田川水系初の多目的ダムとして、平成14年に完成した温井ダム。アーチ式のダムとしては、富山県の黒部ダムに次いで国内2番目の高さ(156メートル)を誇ります。河川の洪水調節や水道用水の確保、発電などの役割を果たし、流域の自然と社会環境、生命や財産を守っています。

ダム周辺にはさまざまな施設が整備され、管理所内のエレベーターで下の広場に降りてダムを見上げたり、ダム資料室や展望デッキを訪れたりして、温井ダムの大きさや歴史を知ることができます。

温井ダム

山県郡安芸太田町大字加計1956-2 TEL 0826-22-1501(温井ダム管理所)
(見学時間)9:00~16:30
※新規入場は16:00まで ※10名以上は事前の申し込みが必要



安芸太田
編

NOSAキャラクターの「フーサイくん」が、名所や地域ならではの料理、学べる場を訪ねて県内を散策。
今回は、安芸太田町に行ってきました。



表紙写真紹介

(写真上)「MILK●JAPAN in ひろしま2014(※)」に参加していた、広島市中区の伊東英晃くん(10)(右)と青木俊輝くん(10)。「これからは牛乳をたくさん飲みたいです」と元氣いっぱいです。

(写真下)福山市駅家町の坪井翔伍さん(22)。ハウス3棟と露地でタマネギなどの野菜苗を栽培しています。「地域の担い手として、地域農業を支える一員になりたい」と張り切っています。



※MILK●JAPAN in ひろしま 2014

昨年10月、庄原市東城町の和田牧場で、酪農関係の団体などが開催したイベント。よく晴れた青空のもと、子どもたちは間近で見る牛に興味津々。牛乳を使った食事の提供や乳搾り体験などさまざまな企画が用意され、酪農を元気にしたいという関係者の皆さんの、意気込みあふれるお祭りでした。



えがお

廿日市市上平良 損害評価会委員・共済委員
おりもと よしまさ
折本 善政さん(71) としこ
俊子さん(69)

★善政さん

いつもありがとうございます。

おいしい野菜と一緒に作っていきましよう。

★俊子さん

元気で、これからも仲良く頑張りますよう。

栽培面積

水稲 11アール
野菜 15アール

NOSAI広島へのお問い合わせ・ご連絡先

名 称	電話番号	担当区域
● 広島支所	082-261-1112	広島市(佐伯区を除く)、安芸郡府中町・海田町・熊野町・坂町
● 廿日市出張所	0829-32-5121	広島市佐伯区、大竹市、廿日市市
● 北広島支所	0826-72-3107	山県郡安芸太田町・北広島町
● 安芸高田連絡所	0826-42-4006	安芸高田市
● 東広島支所	082-434-4337	東広島市(安芸津町を除く)、呉市(安浦町・川尻町・下蒲刈町・蒲刈町・豊浜町・豊町・音戸町・倉橋町を除く)
● 安芸津出張所	0846-45-5327	竹原市、東広島市安芸津町、呉市安浦町・川尻町・下蒲刈町・蒲刈町・豊浜町・豊町、豊田郡大崎上島町
● 江田島連絡所	0823-45-2019	江田島市、呉市音戸町・倉橋町
● 世羅支所	0847-22-0317	三原市、尾道市、府中市、世羅郡世羅町
● 福山支所	084-970-1620	福山市
● 神石高原連絡所	0847-82-2116	神石郡神石高原町
● 三次支所	0824-66-3111	三次市、庄原市

ちょっと聞いて!

昨年12月のある日、廿日市市桜尾の瀬戸利寿さん(66)が、廿日市出張所に見せに来てくださった立派な大根。「いつもどおり作ったのに、大きく育っていてびっくり。今年の大根もおいしいよ!」

